

(5月28日) : 市場はETFのポートフォリオ調整後に下落

VN指数は0.32%下落し、972.00ポイントで取引を終えた。

出来高は1億4900万株で、売買代金は3.5兆ドン（1億5000万ドル）であった。

指数は月曜日に0.53%上昇し、975.14ポイントで取引を終えていた。

HNX指数は0.01%下落し、105.03ポイントで取引を終えた。

同指数は月曜日に0.33%下落し105.04ポイントで取引を終えていた。

出来高は2920万株で、売買代金は3710億ドンほどであった。

ホアファットグループ (HPG)、ビナコネックス (VCG)、ビンググループ (VIC)、バオベトホールディングス (BVH)、ベトナム投資開発銀行 (BID)、サイゴンビールアルコール飲料総公社 (SAB) などの iShare MSCI Frontier 100 ETF も採用されているような大型株がポートフォリオの調整のために下落した。

上昇したセクターは、石油ガス、情報技術、水産加工などだった。

反対に下落したセクターは、銀行、不動産、飲食料、証券、農業、物流、建設などであった。

バオベト証券によると、VN指数は今後も上昇トレンドが続くとみられる。

“先週の下落後に、VN指数は次の相場の方向感が明らかになる前に、960-993ポイントのレンジで推移すると予想されている”と同社は報じた。

市場はセクターによってまちまちの動きとなり、資金は繊維、不動産、工業団地、ゴム、情報技術、電機などに向かうと予想される。

市場は短期的には横ばいが続くと予想されるので、株への投資比率は50%ほどにするべきである。現金比率の高い投資家は支持線に近づいて下落した銘柄を押し目買いするべきだと同社は語った。

外国人投資家は、ホーチミン取引所で 270 億ドンを買い越した。ベトジェット航空 (VJC) (1003 億ドン)、PV パワー (POW) (234 億ドン)、ペトロリメックス (PLX) (234 億ドン) などに注目が集まった。ハノイ取引所では 100 億ドンほどの売り越しだった。

BIDV 証券によると、投資家は世界経済の行方を注視するべきで、特にブレグジットと G20 について注意するべきであるとのことであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。